

## **V 母子健康手帳交付者(初妊婦)調査結果**



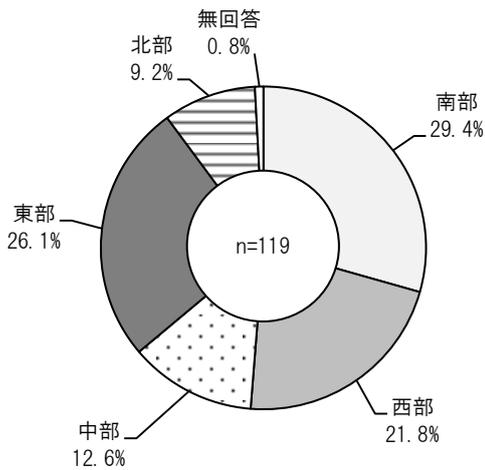
# 1. 回答者、家族の状況などについて

問1 お住まいの地区(町丁目)をお答えください。

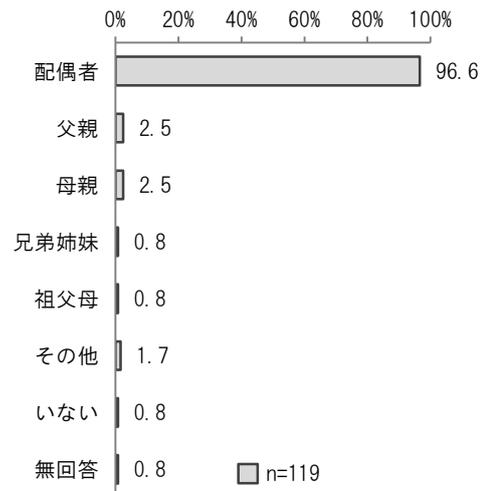
問2 現在、あなたといっしょに暮らしているご家族は、どなたですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- 居住地区は、「南部」が29.4%と最も高く、次いで「東部」が26.1%となっている。
- 同居家族は、「配偶者」が96.6%となっている。

図表 5-1 居住地区



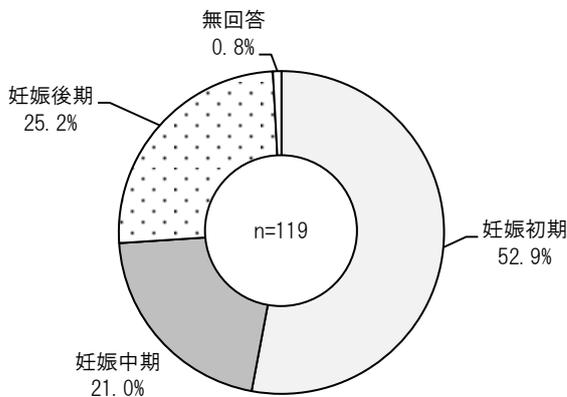
図表 5-2 同居家族(複数回答)



問3 妊娠経過※についてお答えください。(1つに○)

- 回答者の妊娠経過は、「妊娠初期」が52.9%と最も高く、次いで「妊娠後期」が25.2%となっている。

図表 5-3 妊娠経過



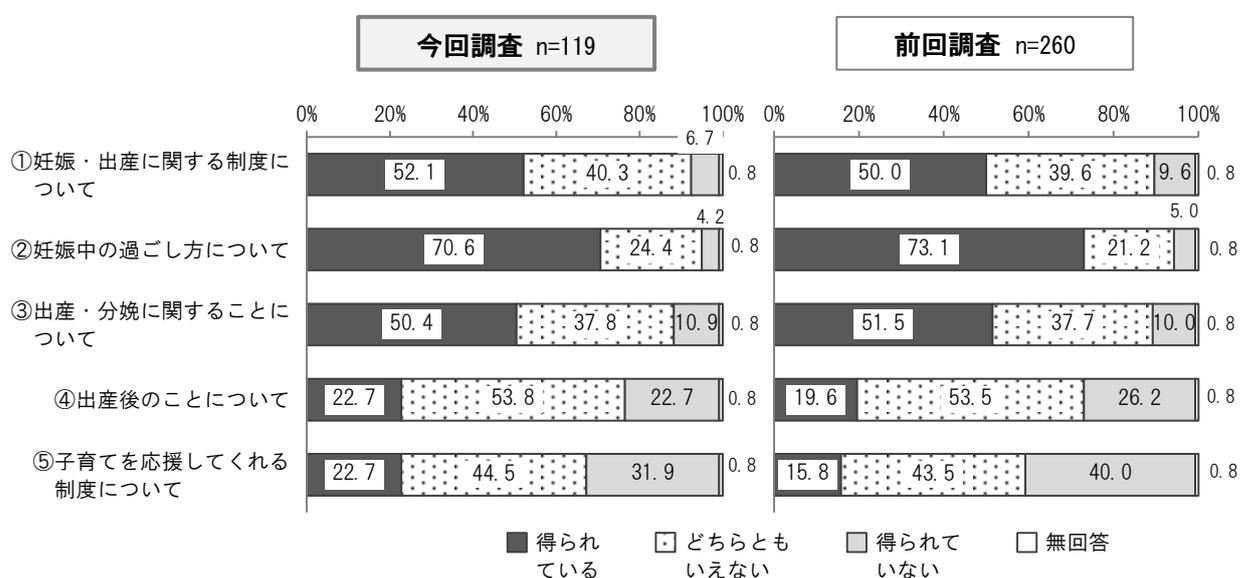
※妊娠初期(～4ヶ月:妊娠0週～15週)  
 妊娠中期(5～7ヶ月:妊娠16週～27週)  
 妊娠後期(8～10ヶ月:妊娠28週～39週)

問4 妊娠・出産に関する必要な情報は入手できていますか。

(①～⑤それぞれ1つに〇)

- ・妊娠・出産に関する情報について、「得られている」割合は、「②妊娠中の過ごし方について」が70.6%と最も高く、次いで「①妊娠・出産に関する制度について」が52.1%となっている。
- ・一方、「得られていない」割合は、「⑤子育てを応援してくれる制度について」が31.9%と最も高く、次いで「④出産後のことについて」が22.7%となっているが、前回調査と比べると、「⑤子育てを応援してくれる制度について」は8.1ポイント、「④出産後のことについて」は3.5ポイント減少している。

図表 5-4 妊娠・出産に関する情報入手度合い<経年比較>

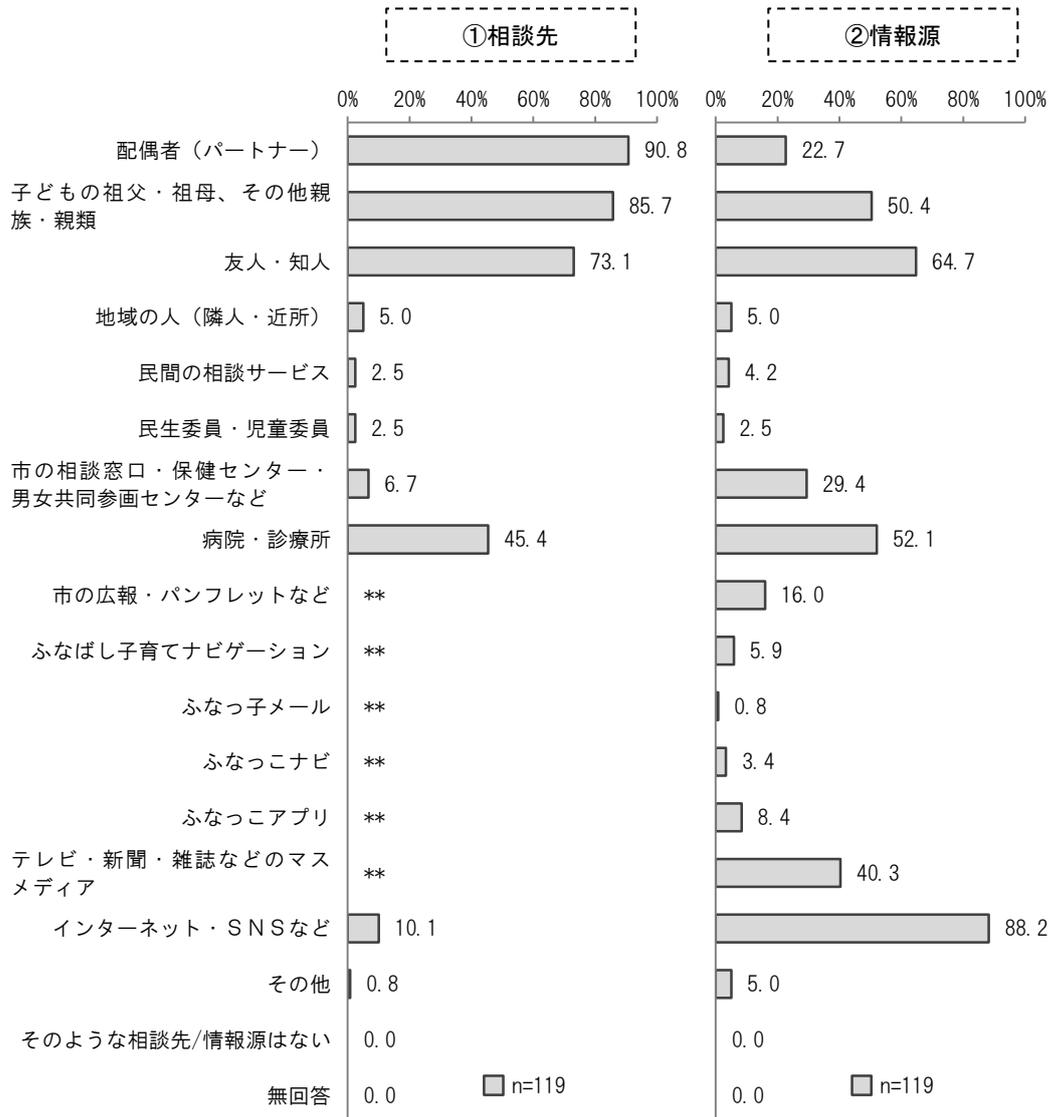


問5 出産や子育て・教育に関して、①気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。また、②情報は何かから得ていますか。

(①・②それぞれあてはまる番号すべてに○)

- 出産や子育て・教育に関する①相談先は、「配偶者(パートナー)」が90.8%と最も高く、次いで「子どもの祖父・祖母、その他親族・親類」が85.7%、「友人・知人」が73.1%となっている。
- ②情報源は、「インターネット・SNSなど」が88.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が64.7%、「病院・診療所」が52.1%となっている。

図表 5-5 出産や子育て・教育に関しての①相談先と②情報源(複数回答)



※グラフ中の「\*\*」は選択肢にない項目である(以下同様)。

【問5①相談先で「そのような相談先はない」に○をつけた方にうかがいます。】

問5-1 今後、どのような相談先を得たいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

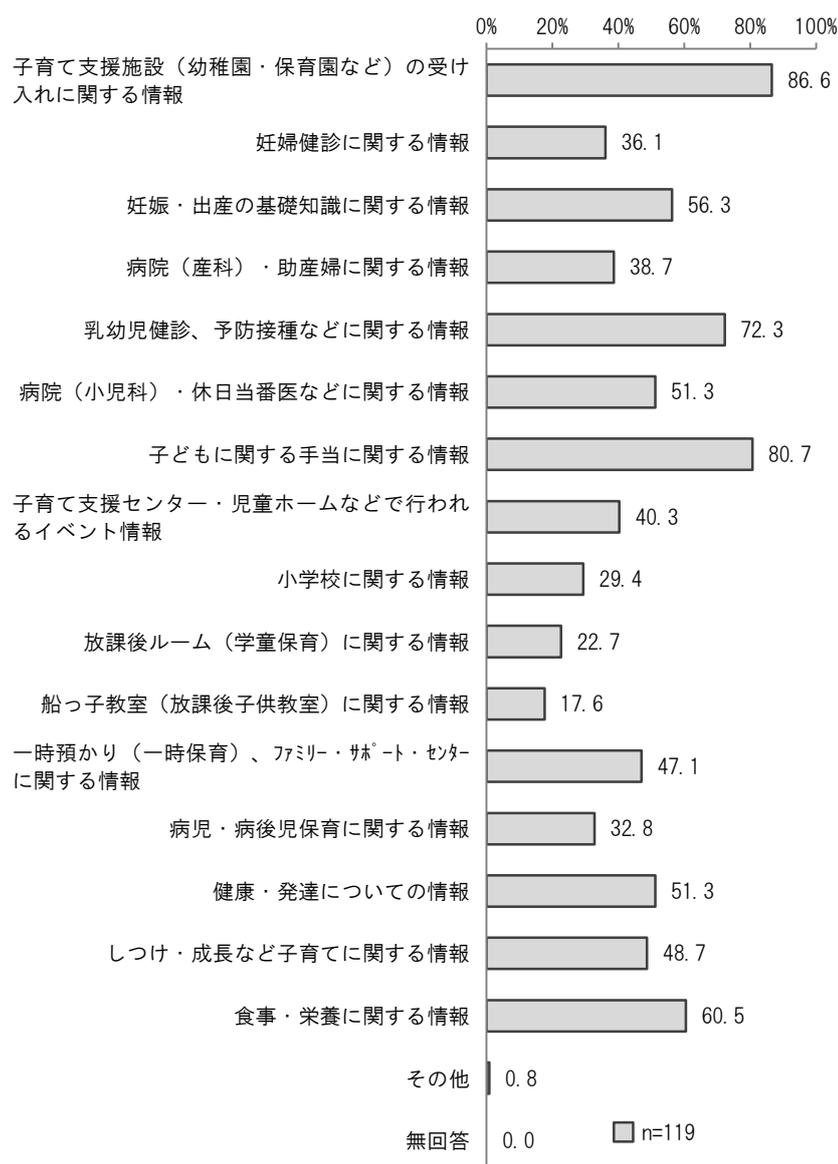
該当者なし

【すべての方にうかがいます。】

問5-2 あなたは、どのような妊娠・出産・子育てに関する情報を知りたいと考えていますか。(あてはまる番号すべてに○)

・知りたい情報は、「子育て支援施設(幼稚園・保育園など)の受け入れに関する情報」が86.6%と最も高く、次いで「子どもに関する手当に関する情報」が80.7%、「乳幼児健診、予防接種などに関する情報」が72.3%となっている。

図表 5-5-2 知りたい妊娠・出産・子育てに関する情報(複数回答)



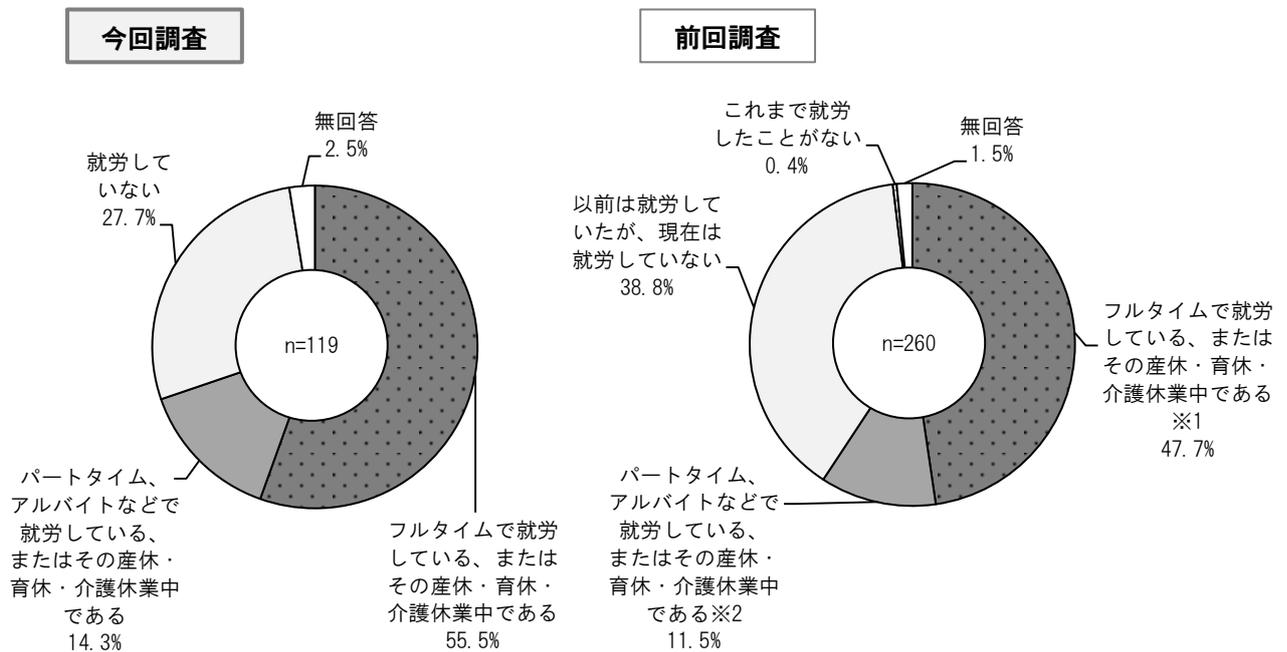
## 2. 就労状況について

問7 お子さんの保護者(父母)の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。( (1)・(2)それぞれ1つに〇)

(1) お母さん

- ・母親の就労状況は、「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」が55.5%となっており、「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」を含めた就労割合は69.8%となっている。
- ・前回調査では、フルタイムとパートタイム等を合わせた就労割合は59.2%となっており、10ポイント以上増加している。

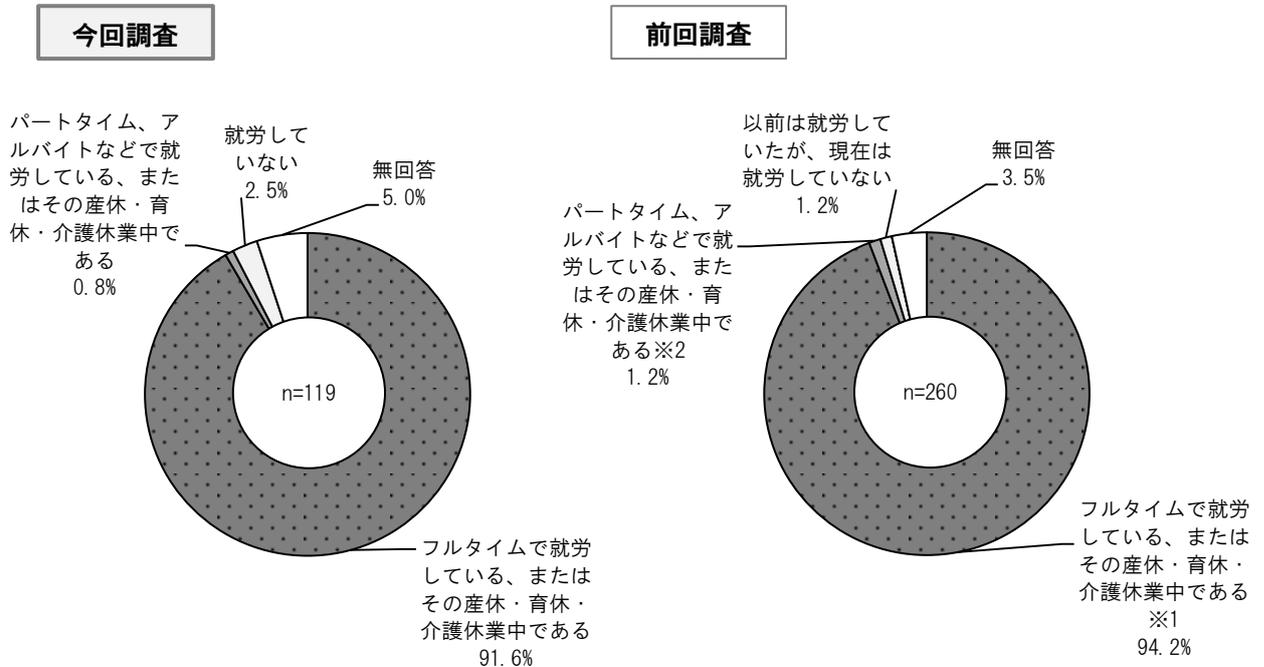
図表 5-7.1【母親】就労状況<経年比較>



(2) お父さん

・父親の就労状況は「フルタイム」が90%以上を占めており、前回調査と大きな差はみられない。

図表 5-7.2 【父親】 就労状況<経年比較>



※1: 前回調査の選択肢「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※2: 前回調査の選択肢「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※「これまで就労したことがない」(0.0%)は省略

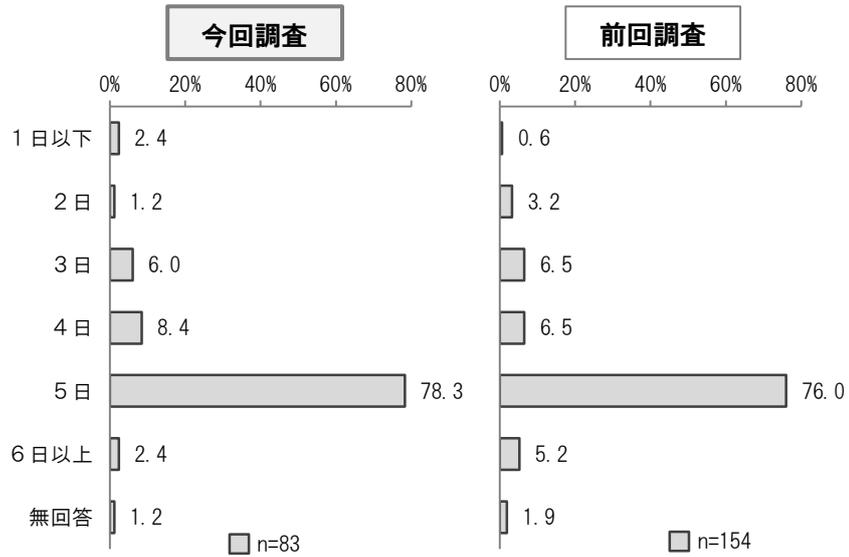
【問7-1は、問7で「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいます。】

問7-1 就労日数や就労時間、また家を出る時刻、家に帰る時刻をお答えください。

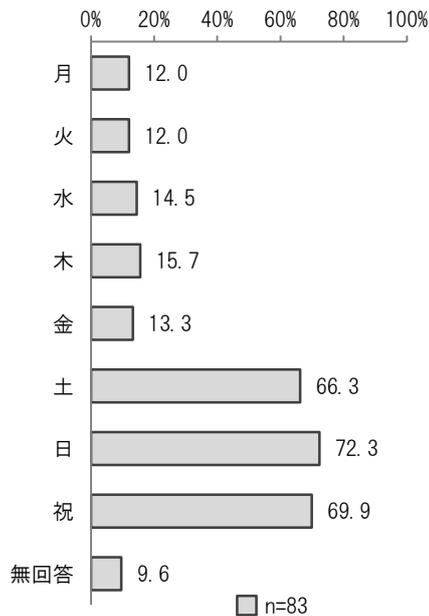
(1) お母さん ① 1週あたりの就労日数と休日

- 母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が78.3%となっており、前回調査と大きな差はみられない。
- 母親の休日は「日」が70%を超え、「土」「祝」が60%台となっている。

図表 5-7-1.1 【母親】就労日数<経年比較>



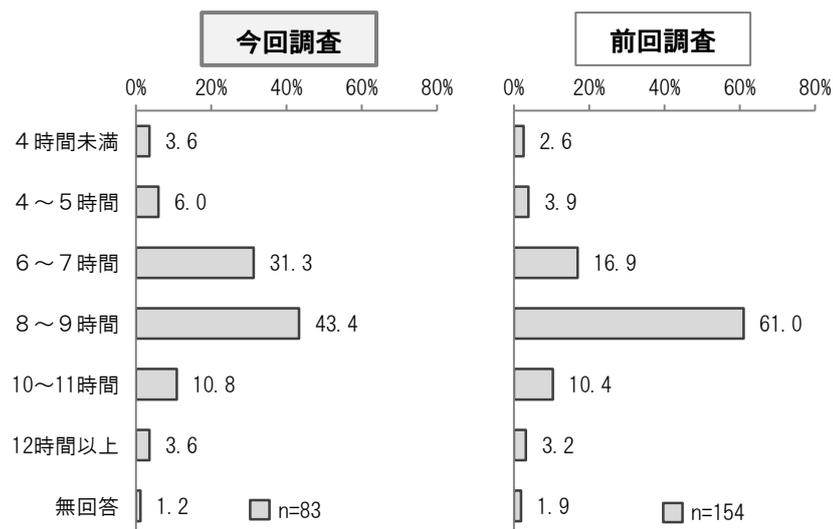
図表 5-7-1.2 【母親】休日 (複数回答)



(1) お母さん ②1日あたりの就労時間(残業時間含む)

- 母親の1日あたりの就労時間は、「8～9時間」が43.4%ともっとも高く、次いで「6～7時間」が31.3%となっている。
- 前回調査と比べると、「6～7時間」が14.4ポイント増加している一方、「8～9時間」が17.6ポイント減少している。

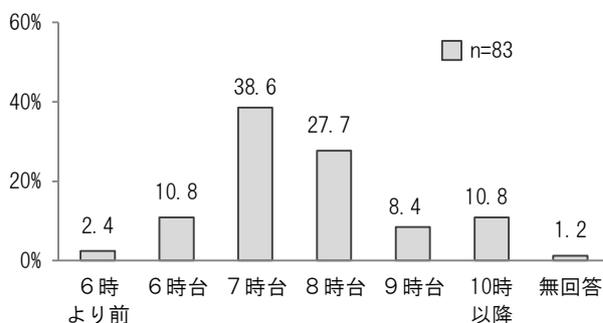
図表 5-7-1.3 【母親】就労時間<経年比較>



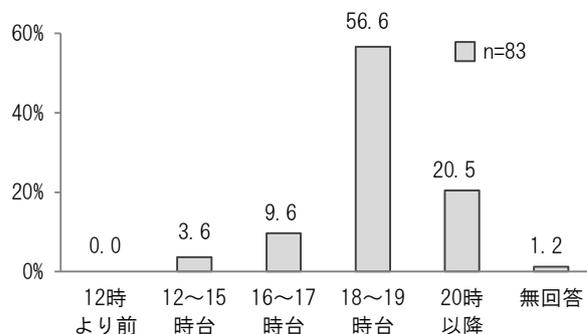
(1) お母さん ③家を出る時刻 ④家に帰る時刻

- 母親の家を出る時刻は、「7時台」が38.6%ともっとも高く、次いで「8時台」が27.7%となっている。
- 母親の家に帰る時刻は、「18～19時台」が56.6%ともっとも高く、次いで「20時以降」が20.5%となっている。

図表 5-7-1.4 【母親】家を出る時刻



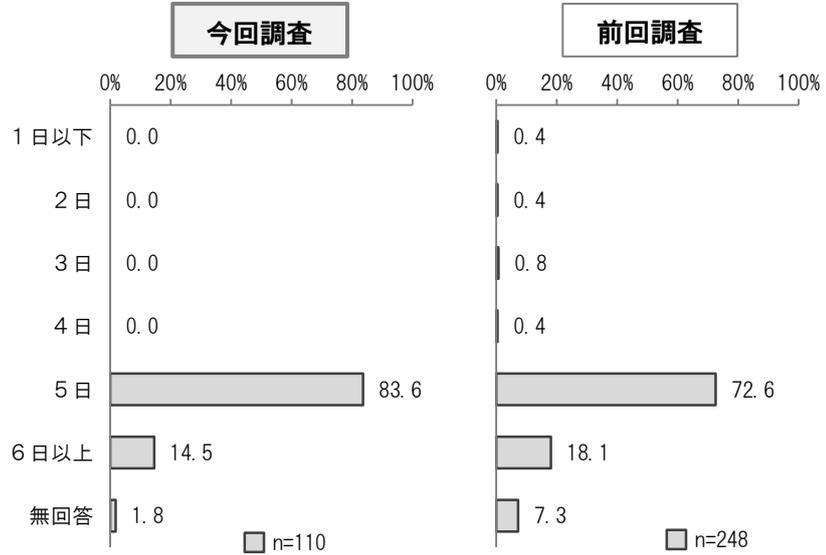
図表 5-7-1.5 【母親】家に帰る時刻



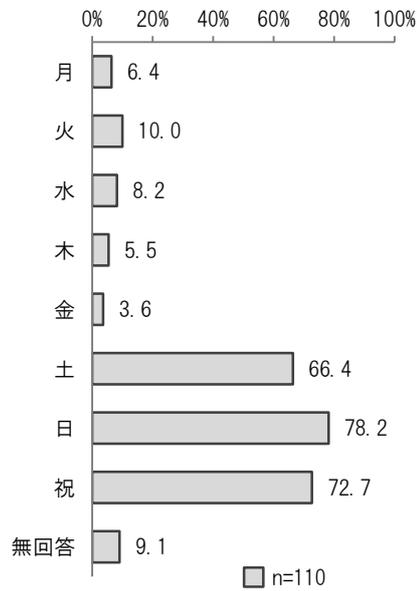
(2) お父さん ① 1週あたりの就労日数と休日

- 父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が83.6%となっている。
- 父親の休日は「日」「祝」が70%を超えており、「土」が66.4%となっている。

図表 5-7-1.6 【父親】 就労日数<経年比較>



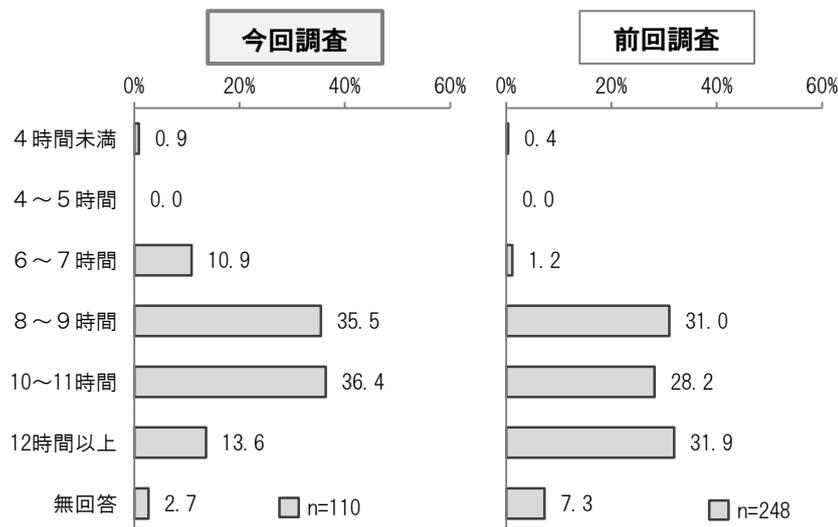
図表 5-7-1.7 【父親】 休日 (複数回答)



(2) お父さん ②1日あたりの就労時間(残業時間含む)

・父親の1日あたりの就労時間は、「10～11時間」が36.4%と最も高く、次いで「8～9時間」が35.5%となっている。

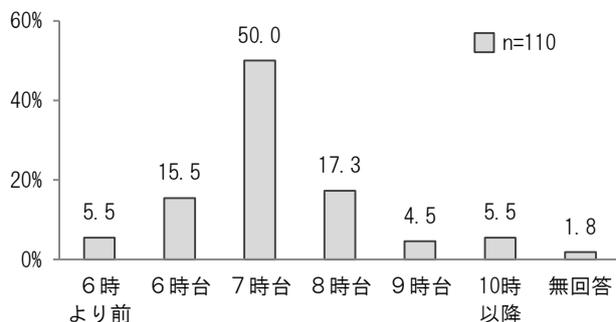
図表 5-7-1.8【父親】就労時間<経年比較>



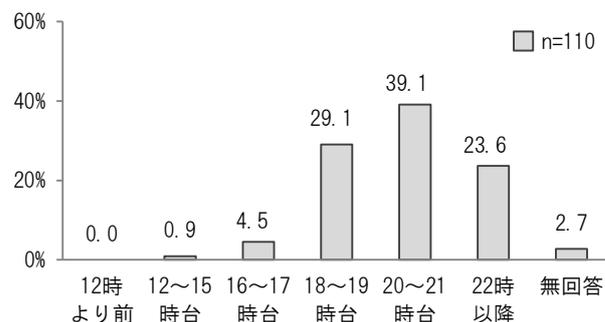
(2) お父さん ③家を出る時刻 ④家に帰る時刻

・父親の家を出る時刻は、「7時台」が50.0%と最も高く、次いで「8時台」が17.3%となっている。  
 ・父親の家に帰る時刻は、「20～21時台」が39.1%と最も高く、次いで「18～19時台」が29.1%となっている。

図表 5-7-1.9【父親】家を出る時刻



図表 5-7-1.10【父親】家に帰る時刻



【すべての方にうかがいます。】

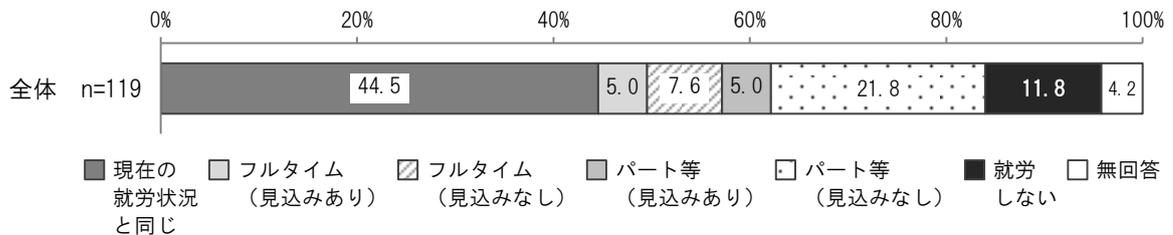
問7-2 今後、希望する働き方(就労形態)についてうかがいます。

( (1)・(2)それぞれ1つに〇)

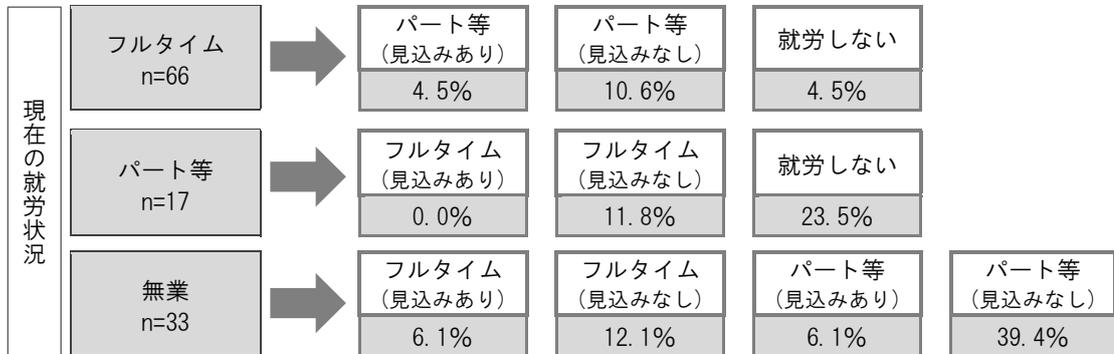
(1) お母さん

- 母親の希望する就労形態は、「現在の就労状況と同じ」が44.5%と最も高く、次いで「パート等(見込みなし)」が21.8%となっている。
- 現在「フルタイム」から「パート等」への転換希望が15.1%、現在「パート等」から「フルタイム」への転換希望が11.8%、現在「無業」から「フルタイム」「パート等」への転換希望が63.7%となっている。
- 母親が1年以内の実現見込みの有無にかかわらず、希望通りの就労形態に転換した場合、「フルタイム」が50.4%、「パート等」が29.4%、「無業」が16.0%となり、現在の就労状況と比べると、「パート等」が15.1ポイント増加する。

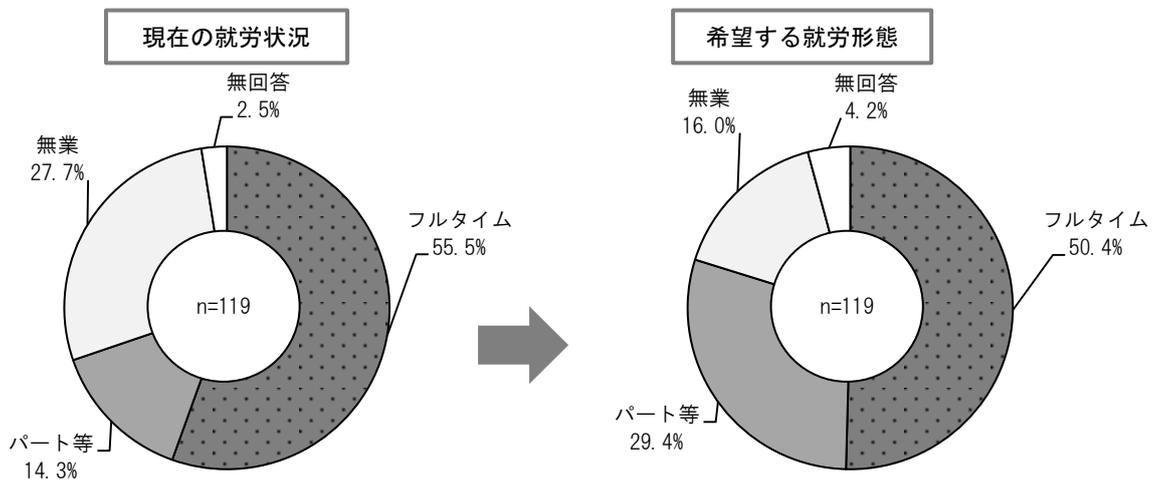
図表 5-7-2.1 【母親】 今後希望する就労形態



図表 5-7-2.2 【母親】 現在の就労状況からの転換希望



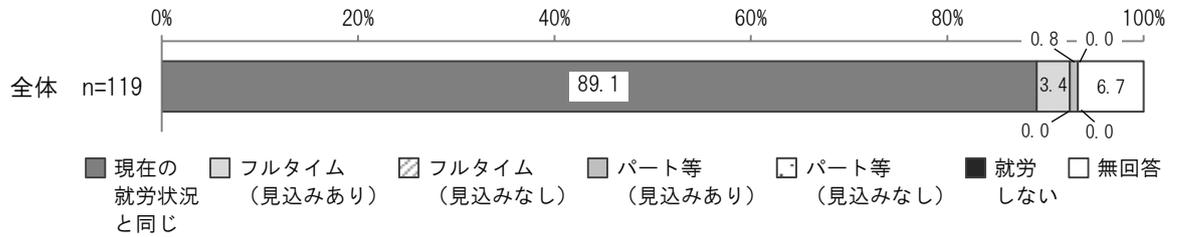
図表 5-7-2.3 【母親】 現在の就労状況と希望する就労形態



(2) お父さん

・父親の希望する就労形態は、「現在の就労状況と同じ」が89.1%となっている。

図表 5-7-2.4 【父親】 今後希望する就労形態



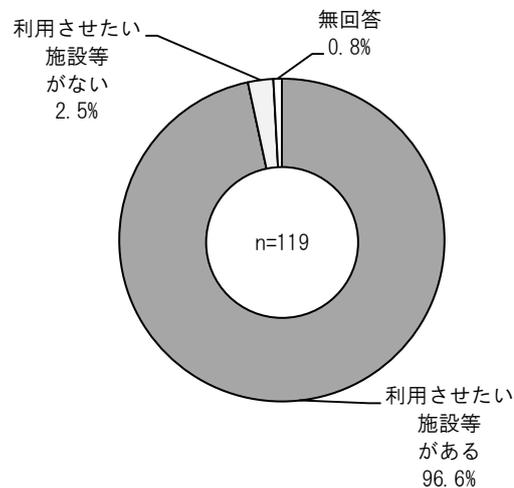
### 3. 平日の日常的な施設等の利用について

施設等の種類
1. 幼稚園（通常の就園時間のみの利用）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間＋在園児を対象とした延長保育の利用）
3. 認可保育所（保育園）（法令による認可を受けたもので定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業 （0～2 歳児を預かる施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19 人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭などで、5人以下の0～2 歳児の保育を行うもの）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）（保育者がその子どもの家庭で保育を行うもの）
11. ファミリー・サポート・センター（地域の住民が子どもを預かるもの）

問8 お子さんに、上の表の中にある施設等で、日常的に利用させたいと考えるものがありますか。（1つに○）

・日常的な施設等の利用希望は、「利用させたい施設等がある」が96.6%となっている。

図表 5-8 日常的な施設等の利用希望



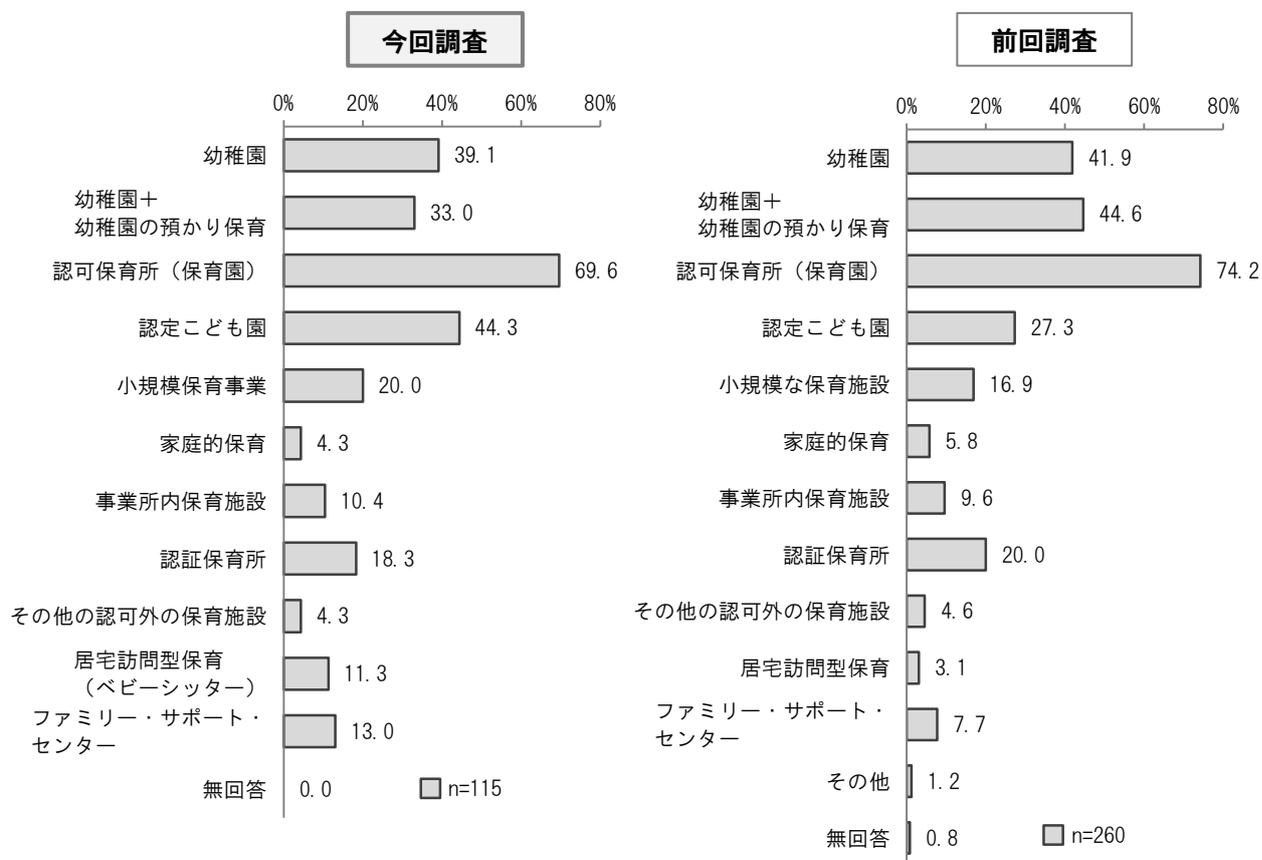
【問8-1～問8-2は、問8で「利用させたい施設等がある」に○をつけた方にかがいます。】

問8-1 利用させたいと考える施設等はどれですか。

(P159の表の中のをあてはまる番号をすべて記入)

- ・利用させたい施設等は、「認可保育所（保育園）」が69.6%と最も高く、次いで「認定こども園」が44.3%、「幼稚園」が39.1%となっている。
- ・設問内容が異なるため参考比較とするが、前回調査より「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が11.6ポイント、「認可保育所（保育園）」が4.6ポイント減少し、「認定こども園」が17.0ポイント増加している。

図表 5-8-1 利用させたい施設等（複数回答）＜経年比較＞

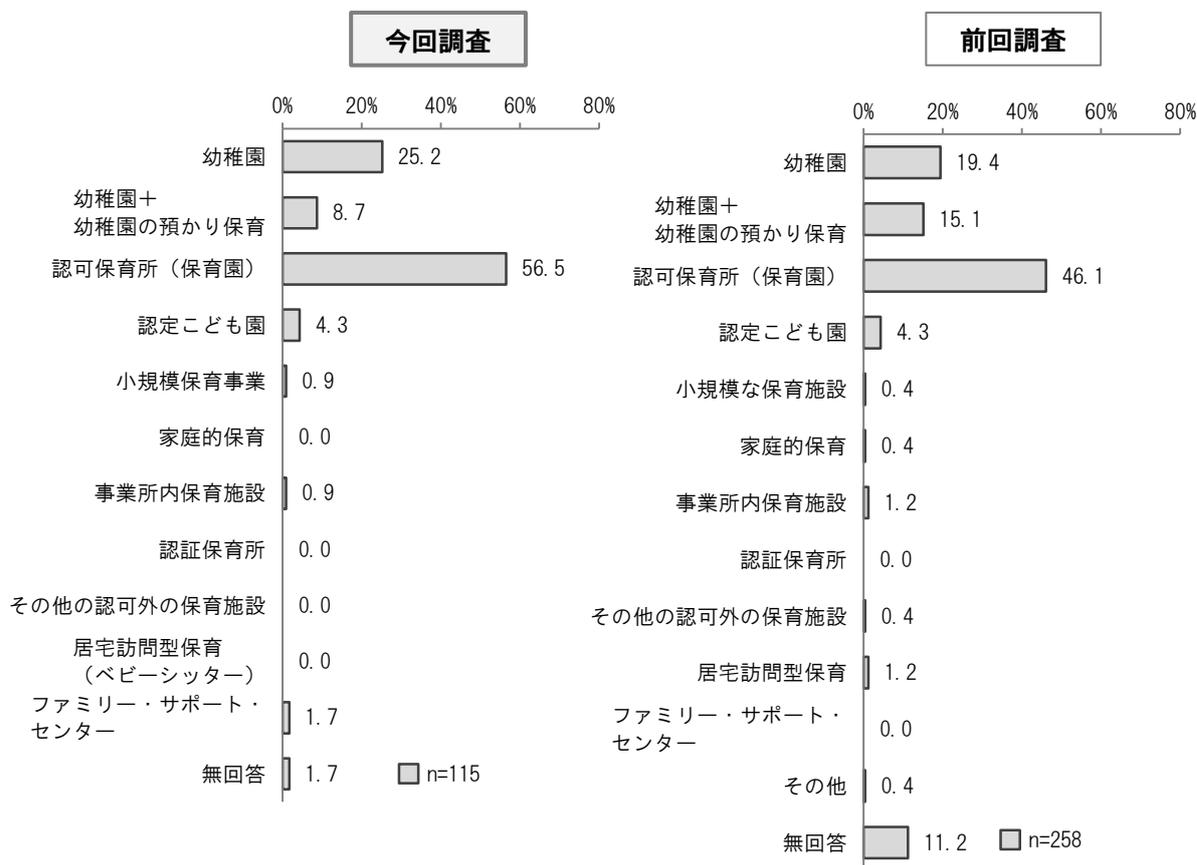


※前回調査はすべての方への設問

問8-2 問8-1で選んだ施設等で、もっとも利用させたいものはどれですか。  
(1つ選んで番号を記入)

・もっとも利用したい施設等は、「認可保育所(保育園)」が56.5%ともっとも高く、次いで「幼稚園」が25.2%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が8.7%となっている。

図表5-8-2 もっとも利用させたい施設等<経年比較>



※前回調査はすべての方への設問

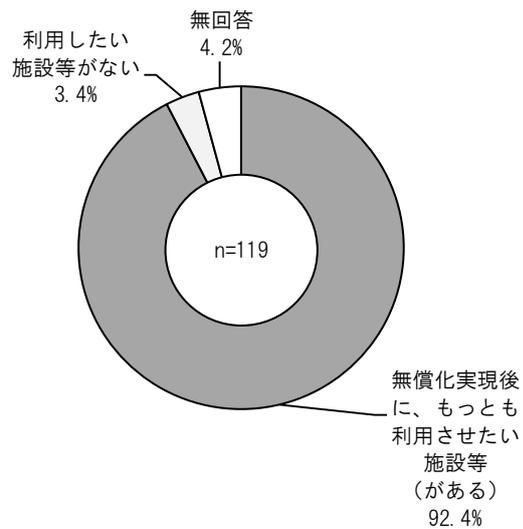
【すべての方にうかがいます。】

問9 幼児教育・保育の無償化が実現した場合に、お子さんに、P159の表の中にある施設等で、もっとも利用させたいものはどれですか。

(1つに○。「無償化実現後に、もっとも利用したい施設等」の場合、あてはまる番号を1つ選んで記入)

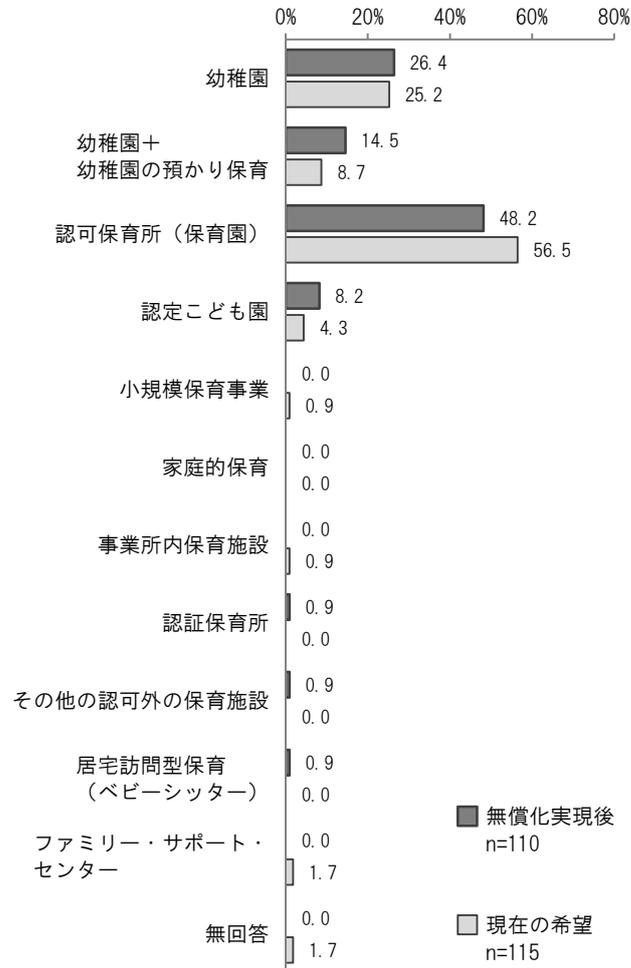
・「無償化実現後に、もっとも利用させたい施設等(がある)」割合は92.4%となっている。

図表 5-9.1 無償化実現後にもっとも利用させたい施設等の有無



・無償化実現後にもっとも利用させたい施設等を、現在もっとも利用させたい施設等（問8-2）と比べると、実現後は、「認可保育所（保育園）」が8.3ポイント減少し、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が5.8ポイント、「認定こども園」が3.9ポイント増加している。

図表 5-9.2 無償化実現後にもっとも利用させたい施設等と現在もっとも利用させたい施設等



問9-1 幼児教育・保育の無償化が実現した場合、希望する働き方(就労形態)は変わりますか。(1)・(2)それぞれ1つに○

(1) お母さん

- ・無償化実現後の母親の就労状況の変化は、「変わらない」が63.9%と最も高く、次いで「就労時間を短くする」が14.3%となっている。
- ・現在の就労状況と無償化実現後に希望する就労形態の関係は、「フルタイム」では「変わらない」が68.2%と最も高く、次いで「就労時間を短くする」が21.2%となっている。
- ・「無業」では「変わらない」が60.6%と最も高く、次いで「就労せず子育て等に専念するつもりだったが、就労する」が33.3%となっている。

図表 5-9-1.1 【母親】問7(現在の就労状況)×問9-1(無償化実現後に希望する就労形態) 上段:人

現在の就労状況 ↓	希望→	変わらない	就労時間を短くする	就労時間を長くする	就労しようと思っていたが、子育て等に専念する	就労せず子育て等に専念するつもりだったが、就労する	無回答
全体	119 100.0%	76 63.9%	17 14.3%	8 6.7%	2 1.7%	15 12.6%	1 0.8%
フルタイム就労 または産休等	66 100.0%	45 68.2%	14 21.2%	4 6.1%	1 1.5%	2 3.0%	0 0.0%
パート等就労 または産休等	17 100.0%	9 52.9%	2 11.8%	4 23.5%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%
無業	33 100.0%	20 60.6%	1 3.0%	0 0.0%	1 3.0%	11 33.3%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%

(2) お父さん

- ・無償化実現後の父親の就労状況の変化は、「変わらない」が89.9%を占めている。

図表 5-9-1.2 【父親】問7(現在の就労状況)×問9-1(無償化実現後に希望する就労形態) 上段:人

現在の就労状況 ↓	希望→	変わらない	就労時間を短くする	就労時間を長くする	就労しようと思っていたが、子育て等に専念する	就労せず子育て等に専念するつもりだったが、就労する	無回答
全体	119 100.0%	107 89.9%	4 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 6.7%

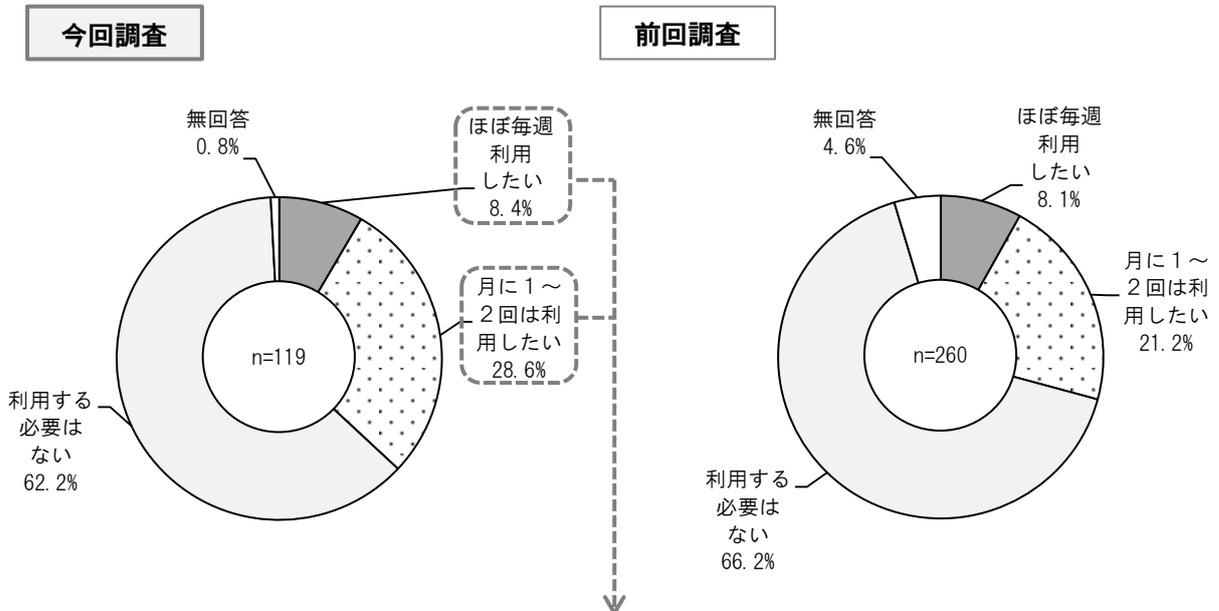
## 4. 土曜・休日の施設等の利用希望について

問 10 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、施設等の定期的な利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。なお、一時的な利用は除きます。

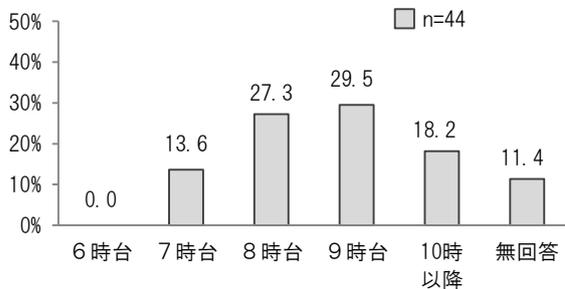
### (1) 土曜日

- 土曜日の施設等の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が8.4%、「月に1～2回は利用したい」が28.6%となっている。
- 利用希望者の希望する開始時刻は「9時台」が29.5%ともっとも高く、次いで「8時台」が27.3%となっている。
- 希望終了時刻は、「19時以降」が25.0%ともっとも高く、次いで「18時台」が18.2%となっている。

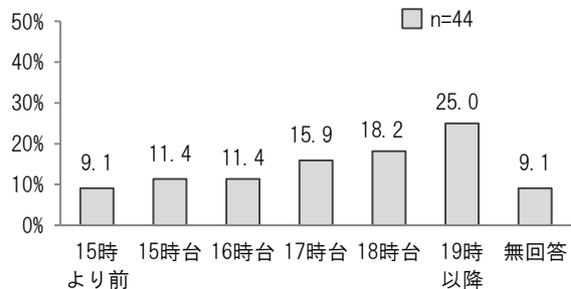
図表 5-10.1 土曜日の施設等の利用希望<経年比較>



図表 5-10.2 土曜日の利用希望開始時刻



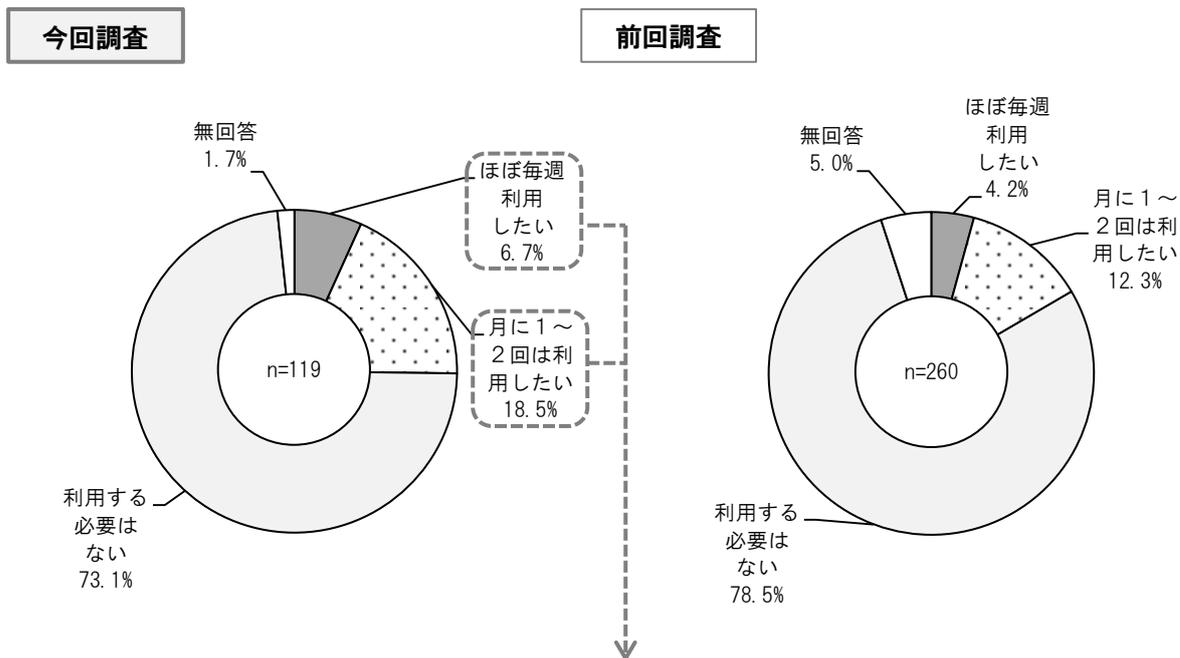
図表 5-10.3 土曜日の利用希望終了時刻



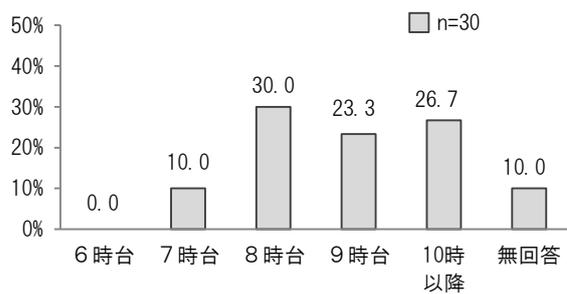
(2) 日曜日・祝日

- 日曜日・祝日の施設等の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が6.7%、「月に1～2回は利用したい」が18.5%となっている。
- 利用希望者の希望する開始時刻は「8時台」が30.0%ともっとも高く、次いで「10時以降」が26.7%となっている。
- 希望終了時刻は、「19時以降」が33.3%ともっとも高く、次いで「17時台」が20.0%となっている。

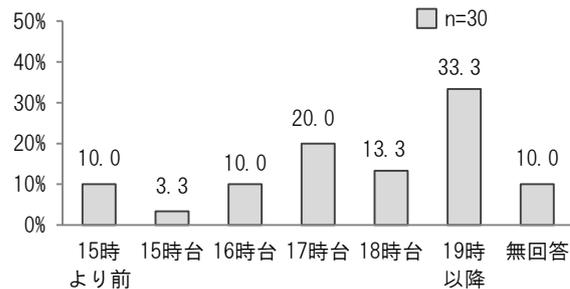
図表 5-10.4 日曜日・祝日の施設等の利用希望<経年比較>



図表 5-10.5 日曜日・祝日の利用希望開始時刻



図表 5-10.6 日曜日・祝日の利用希望終了時刻



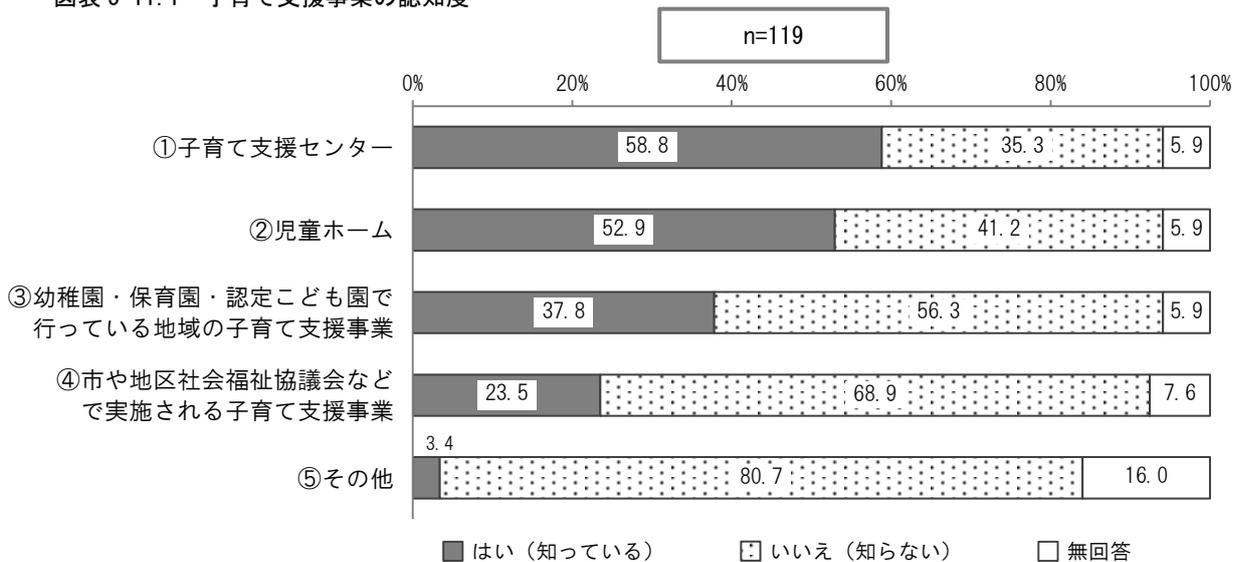
## 5. 地域の子育て支援事業の利用希望について

問 11 お子さんについて、地域の子育て支援事業を利用したいと思いますか。①～③の Bで「いいえ」に○をつけた方は、理由も記入してください。  
(①～⑤ごとに、A、Bそれぞれ1つに○)

### A 知っている

・地域の子育て支援事業の認知度(「知っている」の割合)は、「①子育て支援センター」が58.8%、「②児童ホーム」が52.9%と50%を超えている。

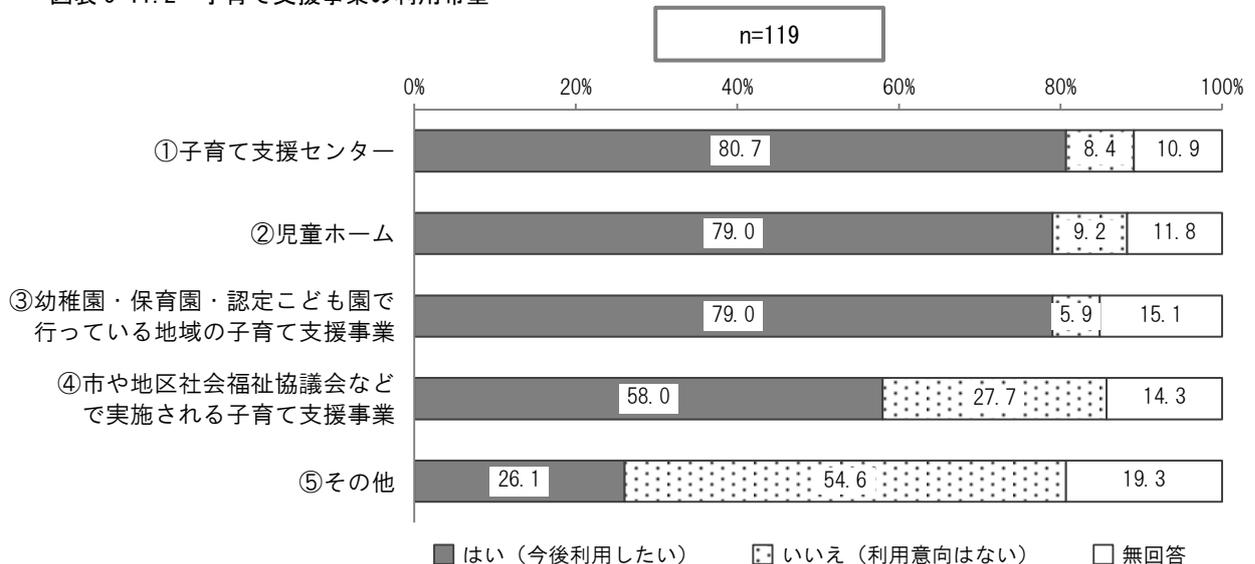
図表 5-11.1 子育て支援事業の認知度



### B 今後利用したい

・地域の子育て支援事業の利用希望(「今後利用したい」の割合)は、「①子育て支援センター」が80.7%と最も高く、次に「②児童ホーム」と「③幼稚園・保育園・認定こども園で行っている地域の子育て支援事業」が79.0%となっている。

図表 5-11.2 子育て支援事業の利用希望



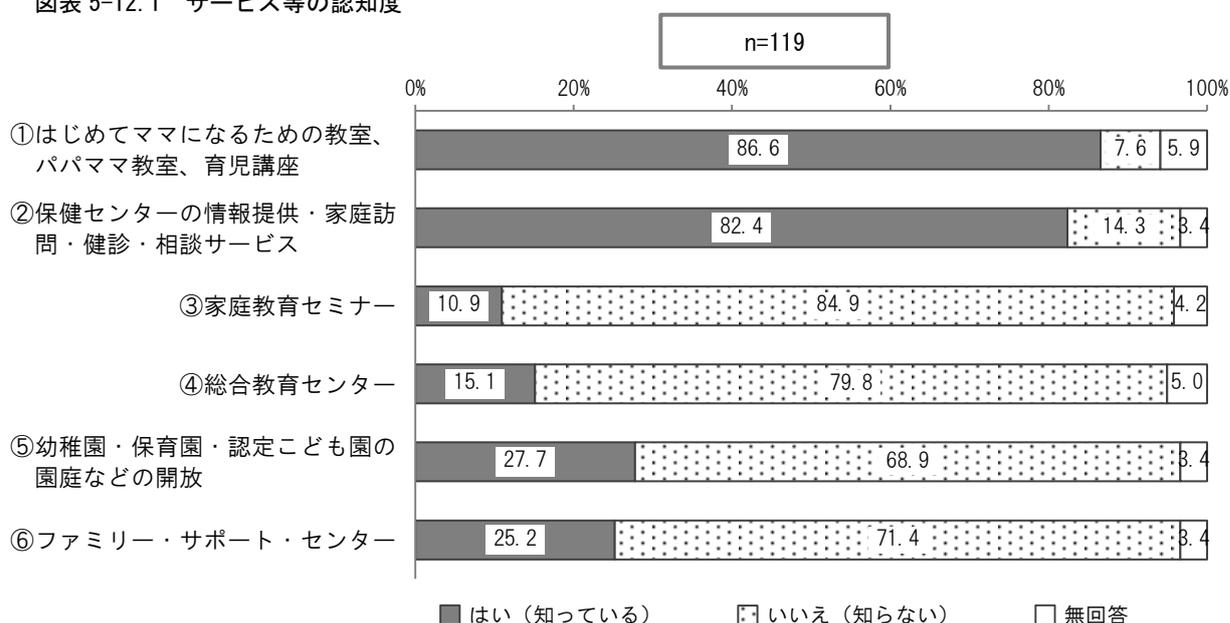
問 12 以下の①～⑥で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、また、今後利用したいと思うものはありますか。

(①～⑥ごとに、A、B、Cそれぞれ1つに○)

**A 知っている**

- ・子育て関係のサービス等の認知度(「知っている」の割合)は、「①はじめてママになるための教室、パパママ教室、育児講座」が86.6%、「②保健センターの情報提供・家庭訪問・健診・相談サービス」が82.4%と80%を超えている。
- ・一方「③家庭教育セミナー」と「④総合教育センター」は、認知度が10%台となっている。

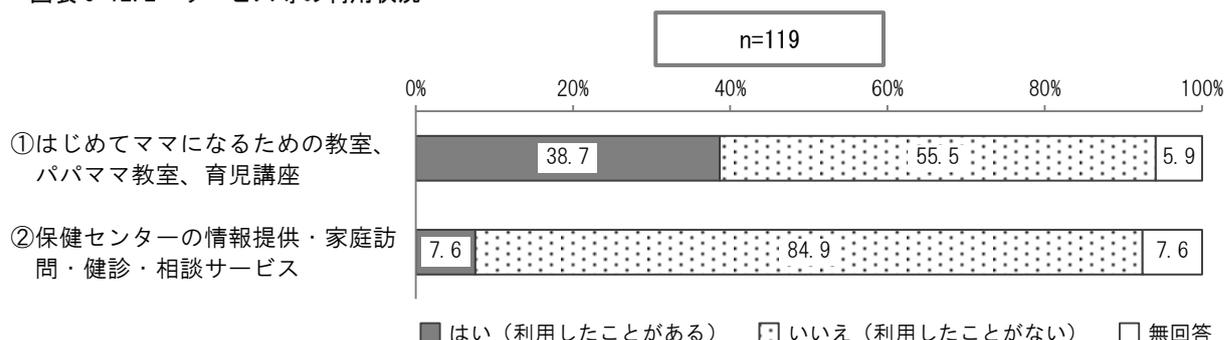
図表 5-12.1 サービス等の認知度



**B これまでに利用したことがある**

- ・子育て関係のサービス等の利用状況(「利用したことがある」の割合)は、「①はじめてママになるための教室、パパママ教室、育児講座」が38.7%、「②保健センターの情報提供・家庭訪問・健診・相談サービス」が7.6%となっている。

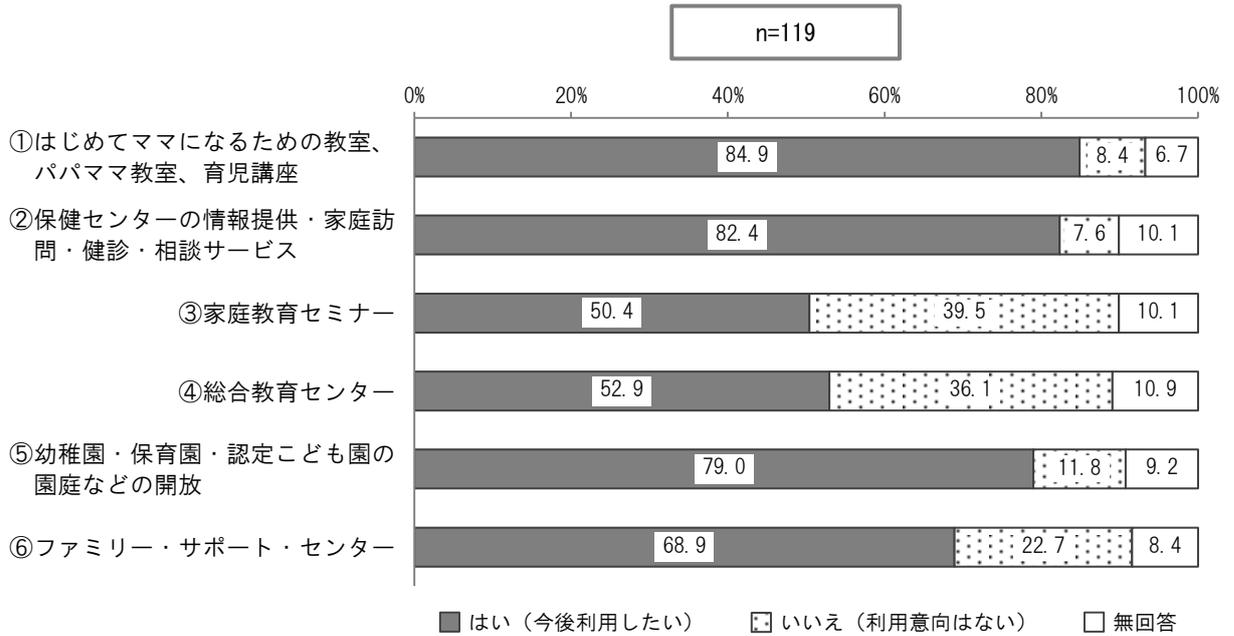
図表 5-12.2 サービス等の利用状況



C 今後利用したい+現在も利用しているが、今後も利用したい

- 子育て関係のサービス等の利用希望（「今後利用したい」の割合）は、「①はじめてママになるための教室、パパママ教室、育児講座」が84.9%、「②保健センターの情報提供・家庭訪問・健診・相談サービス」が82.4%と80%を超えている。
- 認知度が比較的低かった「③家庭教育セミナー」と「④総合教育センター」は、利用希望は50%を超えている。

図表 5-12.3 サービス等の利用希望



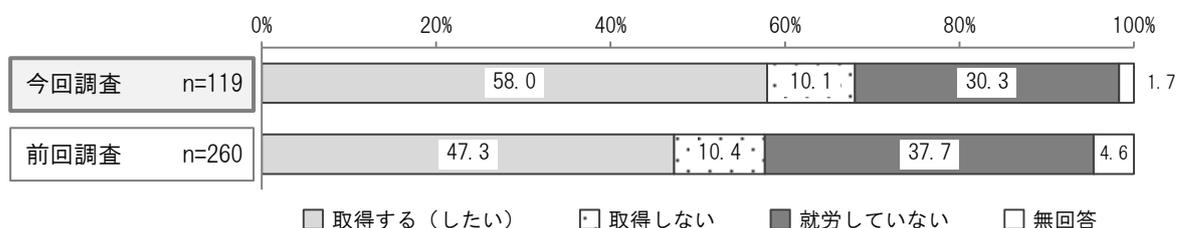
## 6. 育児休業など、職場の支援制度について

問 13 出産後、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しますか。  
 ( (1) ・ (2) それぞれ1つに〇)

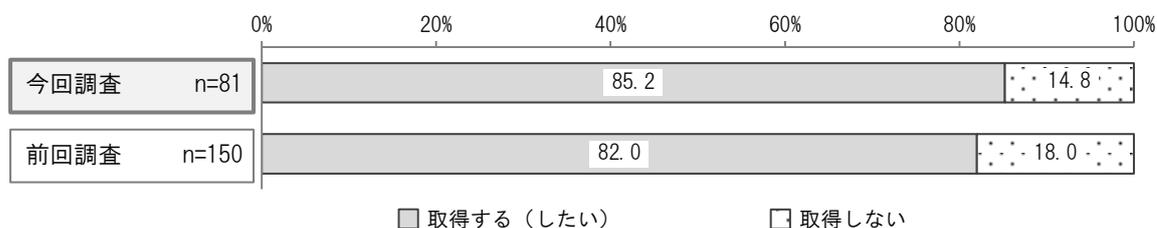
(1) お母さん

- ・母親の育児休業の取得状況(希望)は、「取得する(したい)」が58.0%、「取得しない」が10.1%となっており、「取得する(したい)」は、「就労していない」と「無回答」を除いた『就労者』の85.2%となっている。
- ・前回調査における「取得する(したい)」は、『就労者』の82.0%となっており、3.2ポイント増加している。

図表 5-13.1 【母親】 育児休業の取得状況<経年比較>

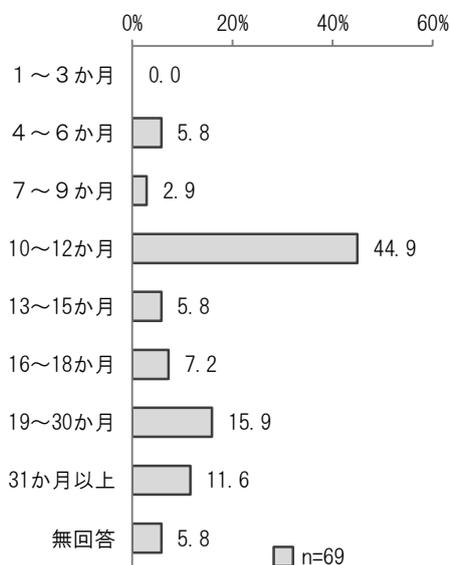


図表 5-13.2 【母親】『就労者』の育児休業の取得状況<経年比較>



- ・母親の育児休業の取得希望期間は、「10~12か月」が44.9%と最も高く、次いで「19~30か月」が15.9%、「31か月以上」が11.6%となっている。

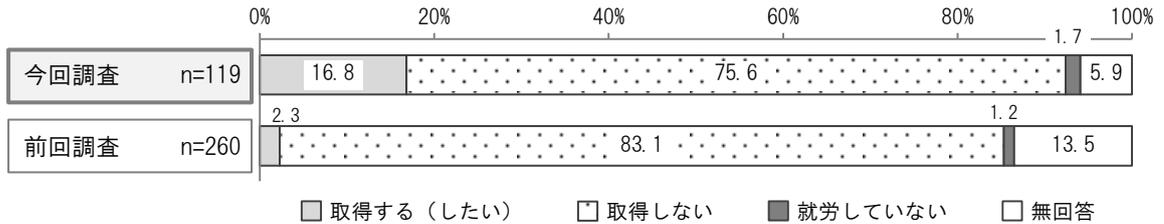
図表 5-13.3 【母親】 取得希望期間



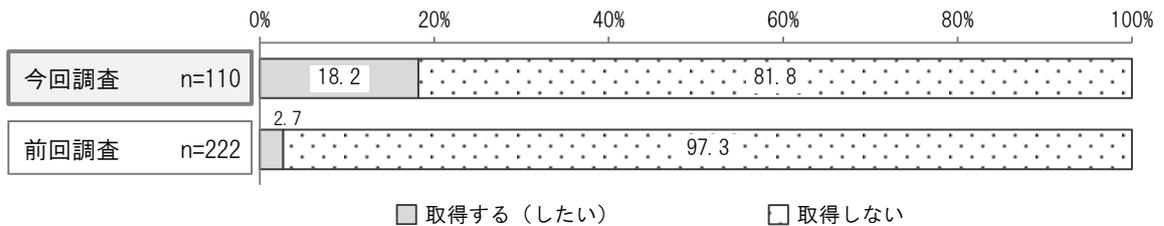
(2) お父さん

- 父親の育児休業の取得状況(希望)は、「取得する(したい)」が16.8%、「取得しない」が75.6%となっており、「取得する(したい)」は、「就労していない」と「無回答」を除いた『就労者』の18.2%となっている。
- 前回調査における「取得する(したい)」は、『就労者』の2.7%となっており、15.5ポイント増加している。

図表 5-13.4 【父親】 育児休業の取得状況<経年比較>

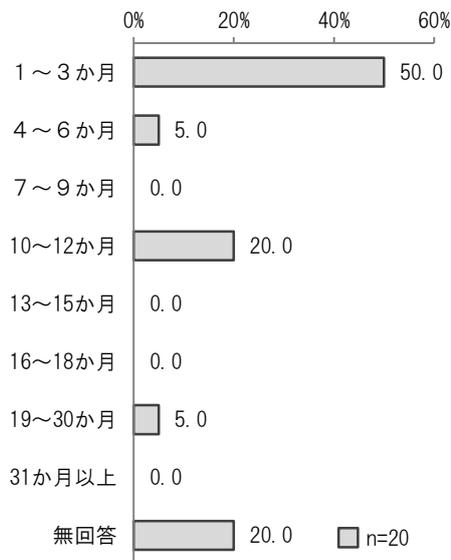


図表 5-13.5 【父親】『就労者』の育児休業の取得状況<経年比較>



- 父親の育児休業の取得希望期間は、「1～3か月」が50.0%、「10～12か月」が20.0%となっている。

図表 5-13.6 【父親】 取得希望期間

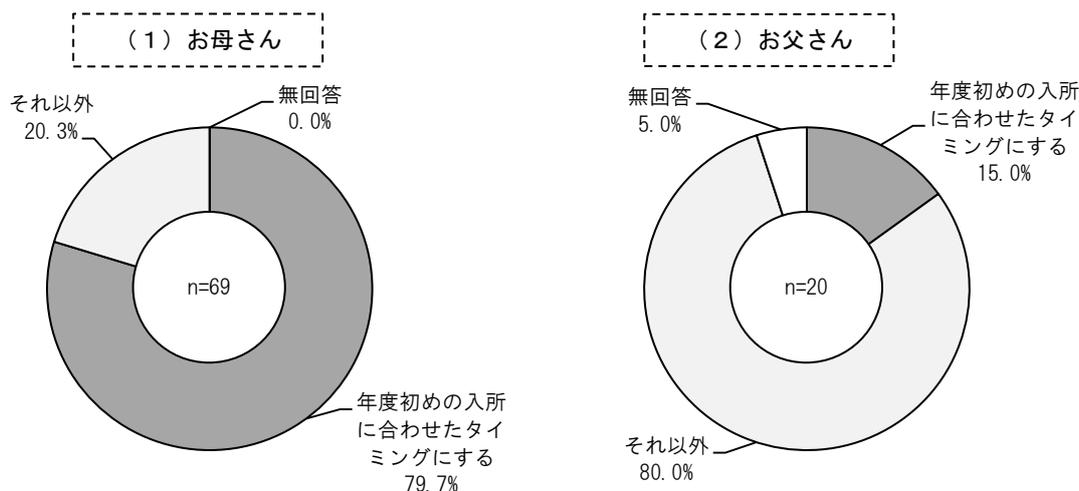


【問 13 で「取得する(したい)」に○をつけた方にうかがいます。】

問 13-1 育児休業から仕事に復帰するのは、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングにする予定ですか。( (1)・(2) それぞれ1つに○)

- 母親の仕事復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」が79.7%、「それ以外」が20.3%となっている。
- 父親の仕事復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」が15.0%、「それ以外」が80.0%となっている。

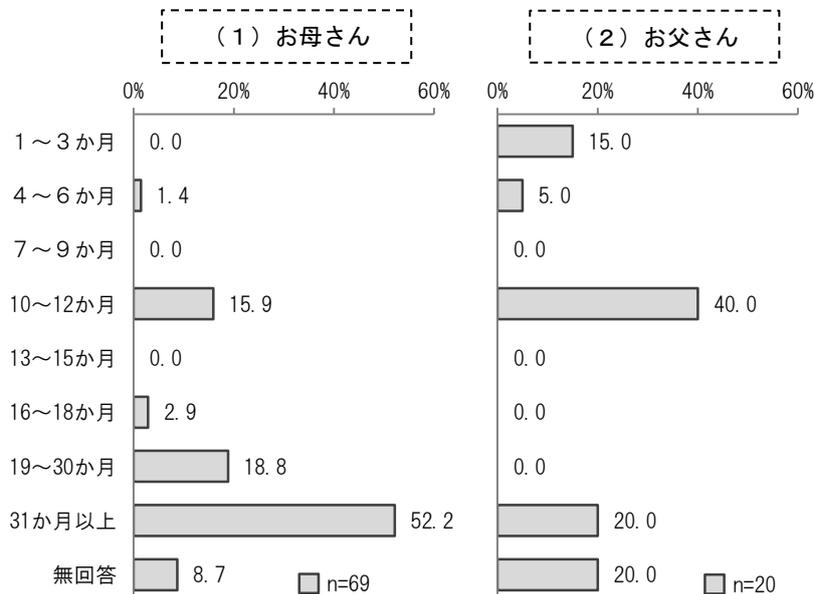
図表 5-13-1 仕事復帰のタイミング



問 13-2 勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があるとしたら、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。

- 3歳まで取得できるとしたら、母親の取りたい期間は、「31 か月以上」が52.2%ともっとも高く、次いで「19~30 か月」が18.8%、「10~12 か月」が15.9%となっている。
- 父親の取りたい期間は、「10~12 か月」が40.0%ともっとも高く、次いで「31 か月以上」が20.0%、「1~3 か月」が15.0%となっている。

図表 5-13-2 3歳まで取得可能な場合に希望する期間



【問13で「取得しない」に○をつけた方にうかがいます。】

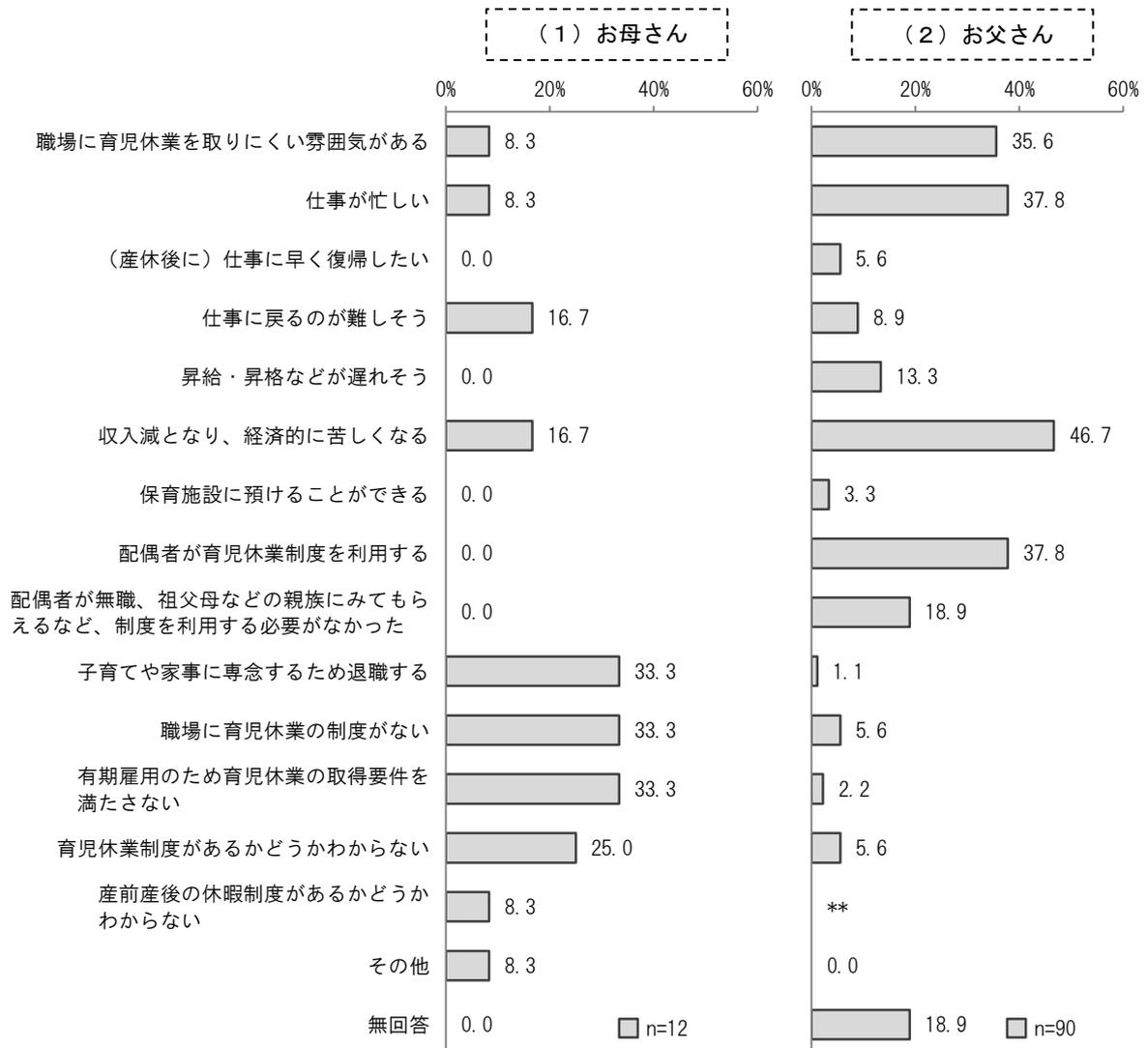
問13-3 育児休業を取得しない理由をお答えください。

( (1)・(2) それぞれあてはまる番号すべてに○)

・父親の育児休業を取得しない理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が46.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しい」「配偶者が育児休業制度を利用する」がともに37.8%となっている。

※母親の取得しない理由はコメントを省略。

図表 5-13-3 育児休業を取得しない理由（複数回答）



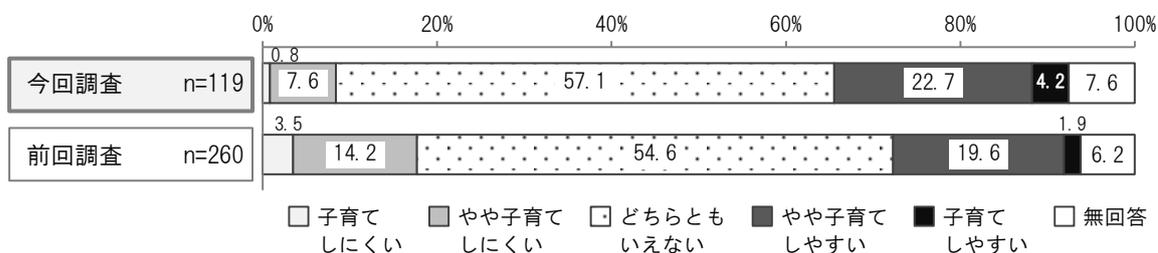
## 7. 子育て環境や支援について

問 14 船橋市は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

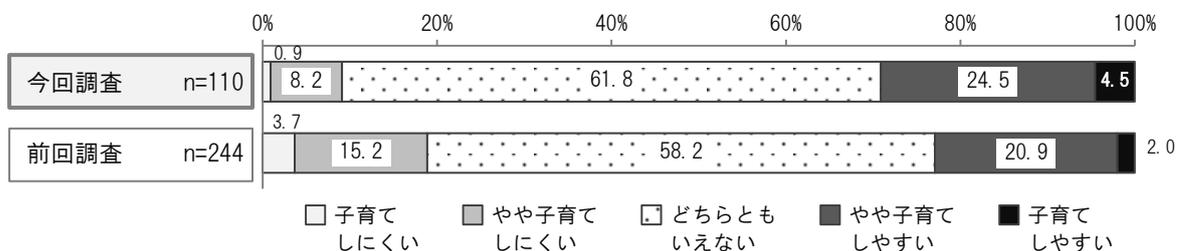


・船橋市は子育てしやすいまちだと思うかについて、「やや子育てしやすい」「子育てしやすい」を合わせた『子育てしやすい』の割合は 26.9%となっている。無回答を除いた割合は、『子育てしやすい』が 29.0%となっており、前回調査の 22.9%より 6.1 ポイント増加している。

図表 5-14.1 子育てしやすいまちだと思うか<経年比較>



図表 5-14.2 子育てしやすいまちだと思うか<経年比較・無回答除く>



問 15 以下の(1)～(12)について、あなたはどのように感じていますか。あなたの考えにもっとも近いと思う番号を選んでください。  
( (1)～(12) それぞれ1つに〇 )

- 市の子ども・子育て支援施策については、「できている」「まあまあできている」を合わせた『できている』の割合は「(4) 母子保健の充実」が52.1%ともっとも高く、次に「(7) 情報提供・相談体制の整備」が37.0%となっている。
- 一方、「あまりできていない」「できていない」を合わせた『できていない』の割合は「(1) 幼児期の学校教育・保育の充実」「(9) 経済的支援の実施」がともに 13.4%ともっとも高くなっている。

図表 5-15 市の子ども・子育て支援施策に感じること

